

# 知っておきたい眼のこと

～よりよく見えるために～



指宿医療センター

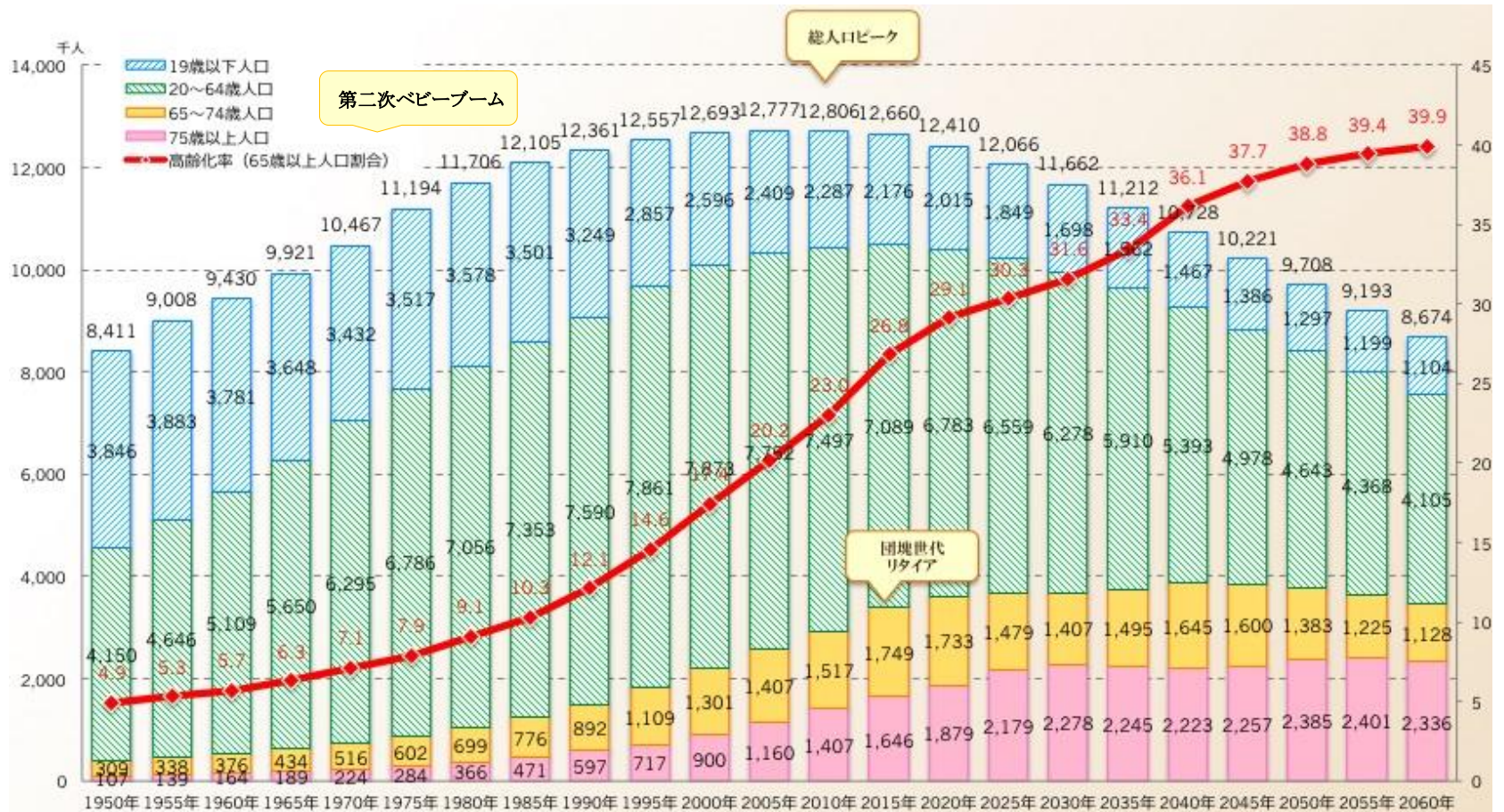
眼科 尾辻 太

2016.11.27.

# 本日の講演内容

- 眼疾患の現状
- 各眼疾患について
- 当院での診療

# 日本人口の推移

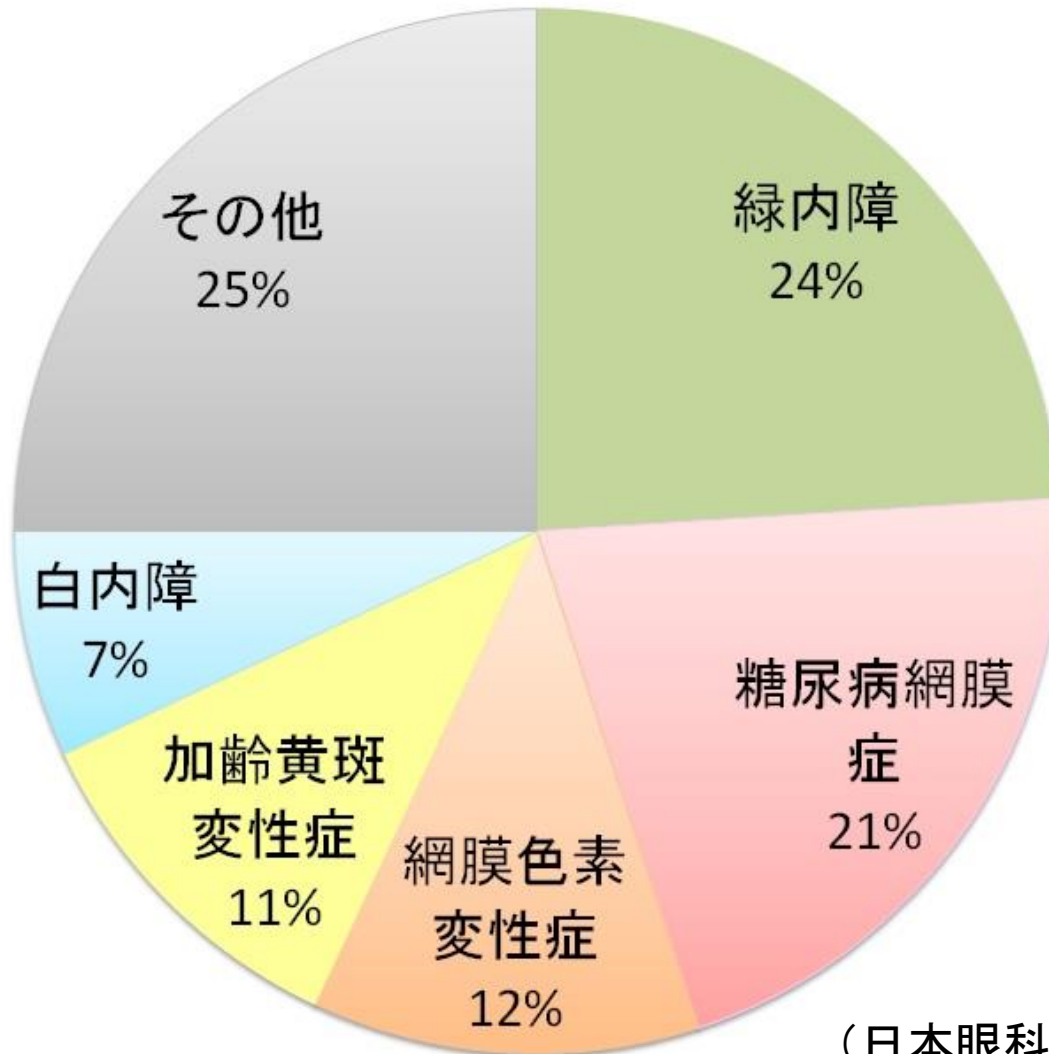


資料:2010年までは総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

# 加齢による眼疾患

- 老視
- 白内障
- 緑内障
- 加齢黄斑変性
- 網膜の血管障害など  
(糖尿病網膜症、血管閉そく症)

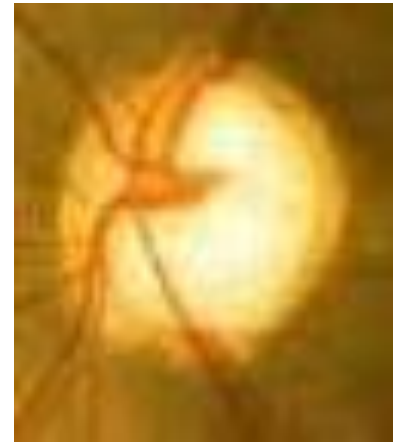
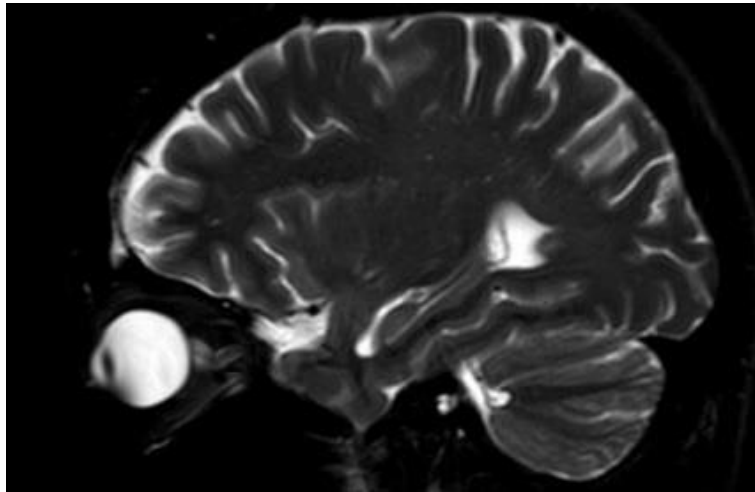
# 視覚障害の原因疾患



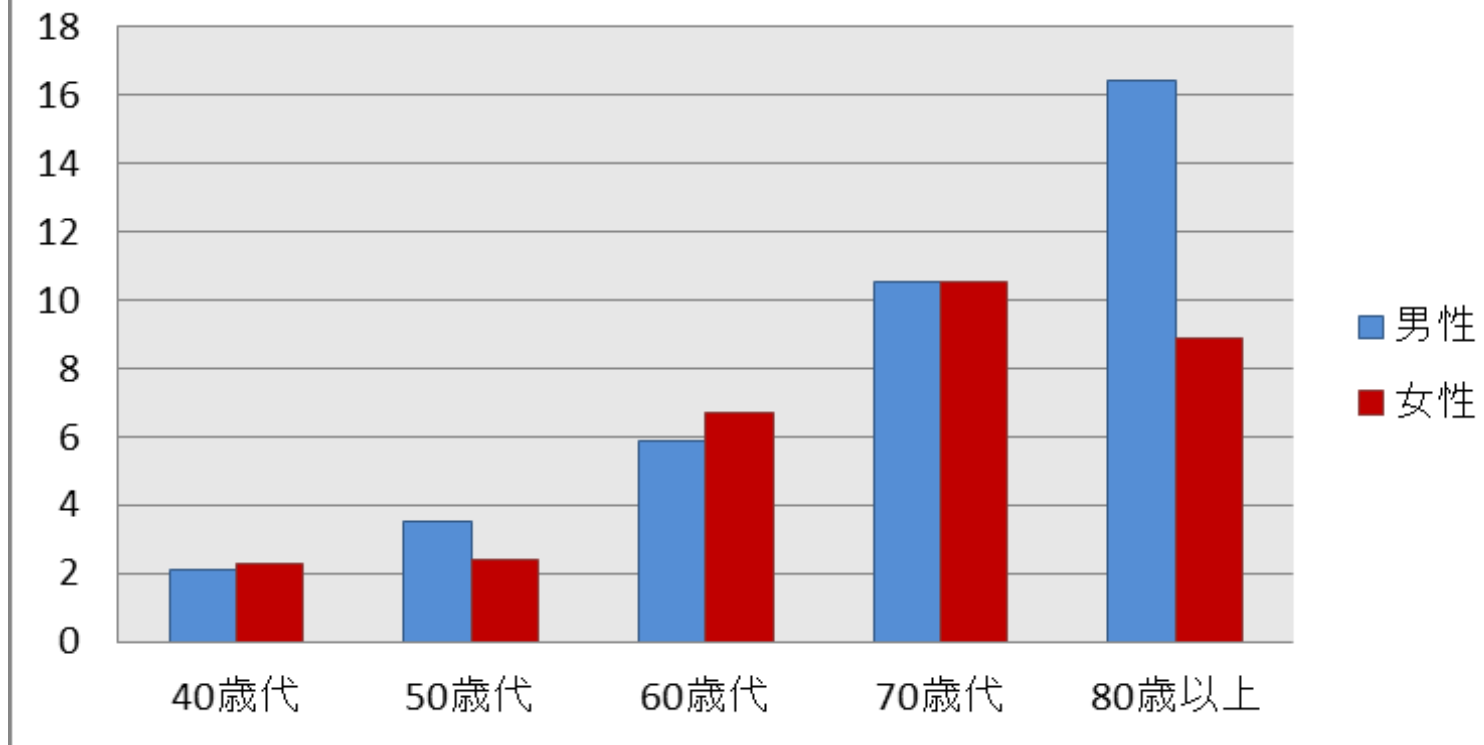
(日本眼科医会, 2009年) 5

# 緑内障

- 視神経と視野に特徴的変化をきたす病気



## 緑内障有病率



(The Tajimi Study Ophthalmology 2004)

- 加齢に伴い発症しやすくなる病気
- 40歳以上の20人に1人が発症

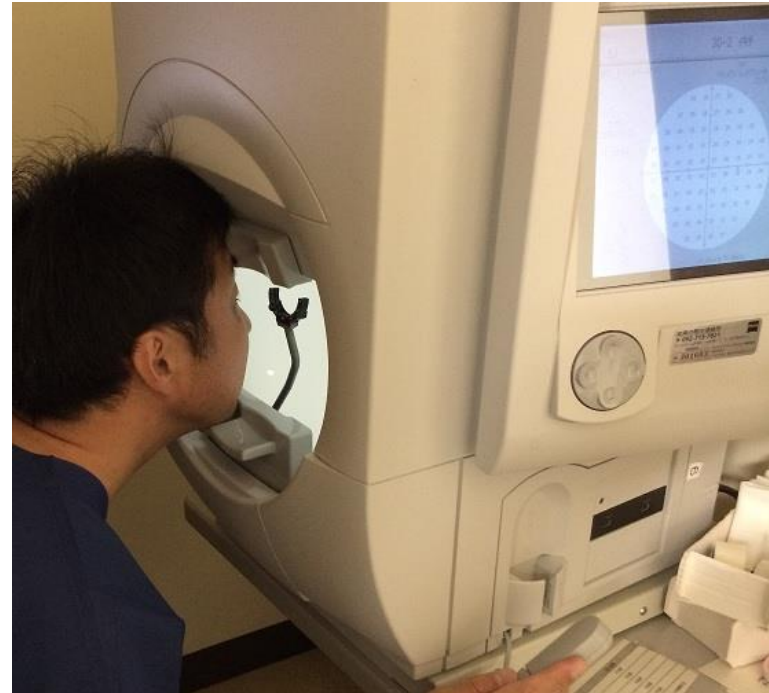
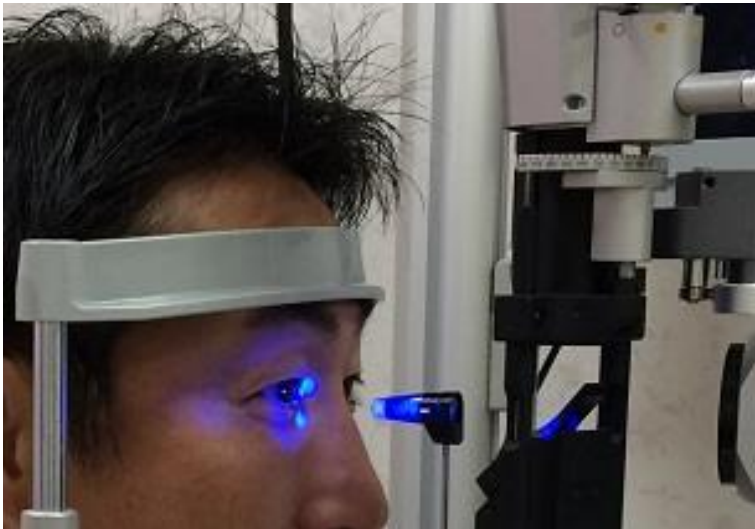
- 患者数約300万人
- 全体の74%は正常眼圧緑内障
- 初期は自覚症状に乏しい  
(何となく見えにくい、かすむ)
- 進行ゆっくり、慢性疾患
- 元に戻せない
- 治療は眼圧下降(点眼、手術)  
(目的は進行を遅らせること)



緑内障は

**早期発見・早期治療**が重要

40歳を過ぎたら定期的に検査を  
しましょう



# 緑内障になりやすい方

- 身内に緑内障
- 近視が強い
- 眼圧が高い

私たちが人間は、外界からの情報の80%以上は目から得るといわれています。平均寿命が延びてきている現在、一生運におおいて、見る、見える、はとても重要な機能であります。

わが国の視覚障害の三大原因は緑内障、糖尿病網膜症、網膜色素変性症です。

また、新聞やテレビなどで聞いた人もいると思いますが、最近では加齢黄斑変性の割合も増えてきています。今回は視覚障害の原因第一位の緑内障についてお話しします。

40歳以上の日本人には、20人に1人の割合で緑内障の患者さんがいるといわれています。2015年現在、指宿市に40歳以上の人が約2万8千人いますので、緑内障にかかっている人は約1400人いる計算になります。

また緑内障の有病率は年齢とともに増加していくことが知られています。発見された緑内障の患者のうち、それまで緑内障と診断されていたのは、全体の1割に過ぎませんでした。つまり、緑内障があるにもかかわらず、これに気付かず

に過ごしている人が大勢いることも判明しました。

最近の緑内障の診断と治療の進歩は日覚ましく、以前のような「緑内障＝失明」という概念は古くなりつつあります。一般に、早期発見、早期治療によって失明という危険性を多少しも減らすことができる病気の一つであることは間違いありません。

「緑内障」と一言で言ってもいろいろ種類があります。急性に眼圧が上昇し、目の痛みや頭痛、吐き気など、激しい症状を起すもの「急性緑内障」と、ほとんど自覚症状がないまま病気が進行してしまうもの「慢性緑内障」があります。

緑内障は、眼圧、隅角、眼底、視野、画像検査などで診断されます。定期検査などで、異常があった場合、必ず眼科医の診察を受けるようにしてください。

緑内障によって障害された視神経は治療を行っても元に戻らず、すでに失われてしまった視野も回復しないので、早期に発見し、進行を防ぐ治療を行うことが大切です。

治療は病状に合わせて選択されます。大多数を占める慢性緑内障で視野異常が進行していない場合は、まずは点眼薬による治療から始めます。薬物では眼圧が十分に低下しない場合や視野異常の進行が止まらない場合はレーザー治療や手術治療が行われています。

治療後も定期的に検査を受け、病状が進行していないことを確認して初めて治療が順調であるといえます。緑内障は生涯にわたる管理が必要です。

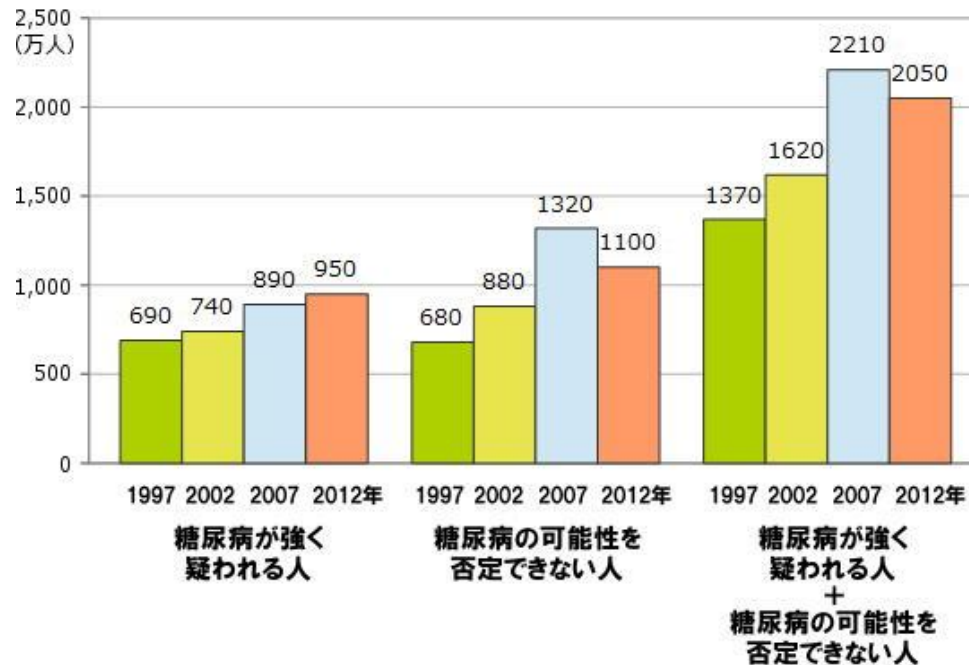
(広報いぶすき, 2015. Aug. vol.116)

- ステロイド治療を行っている

# 糖尿病網膜症

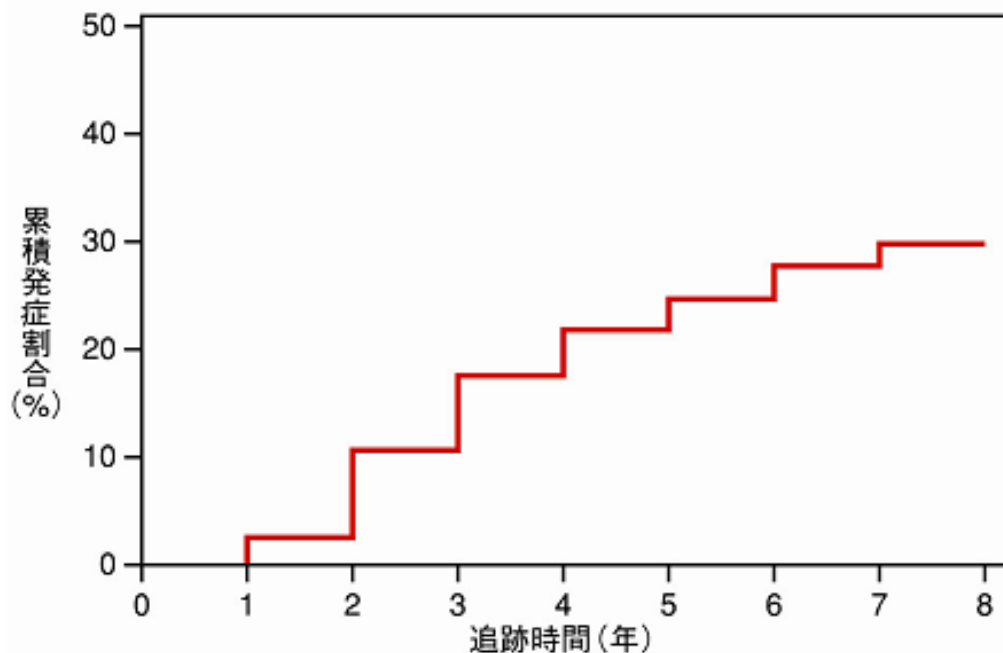
- 糖尿病に合併する眼の病気
- 本邦の糖尿病患者数：950万人

「糖尿病」と「糖尿病予備群」の合計は2,050万人(2012年)

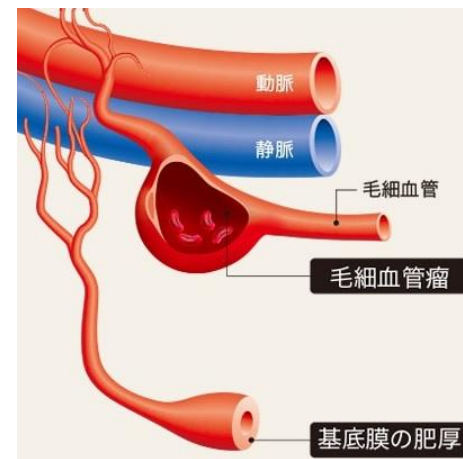


出典：2012年国民健康・栄養調査結果(厚生労働省)

- 網膜症発症には血糖コントロール (HbA1c)、収縮期血圧、罹病期間が有意に関連
- 網膜症の罹患率は、糖尿病罹病期間10年で30～50%



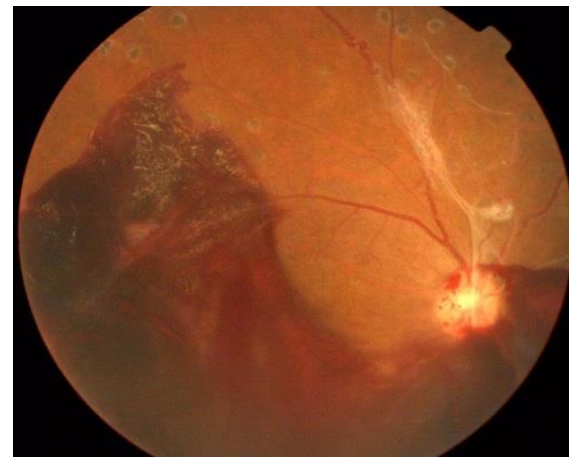
- 網膜の細い血管が少しずつ傷んで、変形したり詰ったりする
- 出血、血液成分が漏出
- 新生血管、硝子体出血



単純網膜症

増殖前網膜症

増殖網膜症



- 糖尿病患者の約4割が網膜症を  
発症（患者数約300万人）
- 初期は自覚症状に乏しい  
（約3割は眼科受診せず、初診後の  
約半数が受診中断）
- 若年での発症の増加と重症化
- 治療は病気の進行を抑える  
（レーザー、硝子体注射、手術など）

- 糖尿病網膜症も緑内障と同様  
**早期発見・早期治療**が重要
- 糖尿病と診断されたら、**必ず  
一度**は眼科を受診しましょう

	受診間隔
網膜症なし	1年に1回
単純網膜症	3～6か月に1回
増殖前網膜症	1～2か月に1回
増殖網膜症	2週間～1か月に1回

\* 黄斑浮腫を合併した場合は例外







- 平成27年4月13日 外来診療開始

独立行政法人国立病院機構指宿医療センター 外来診療担当医一覧

診療科等		月	火	水	木	金	備 考
眼 科	午前	尾 辻	尾 辻	尾 辻	尾 辻	尾 辻	月曜・火曜・水曜は午後から手術のため受付は午前10時までとなります。
	午後	(手術日)	(手術日)	(手術日)	(特殊外来)	(特殊外来)	木曜・金曜の午後は特殊外来(視野検査、レーザー治療、造影検査、硝子体注射など)

- 基本的に月～金の午前中外来
- 午後は手術、特殊外来(視野検査、レーザー治療、造影検査、硝子体注射など)



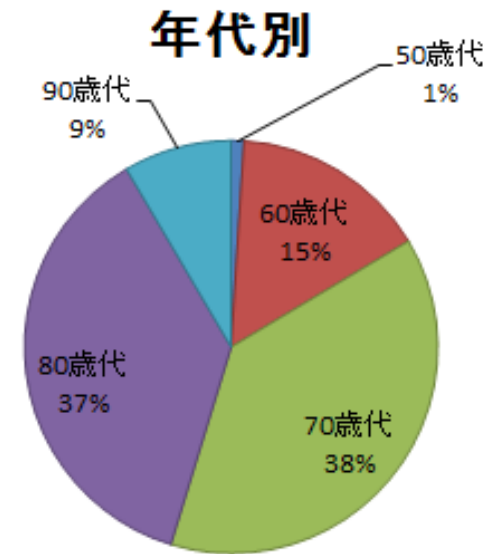
- 平成27年5月19日 入院手術開始
- 基本的に月・火・(水)曜日の午後
- 外来受付は午前10時までとなります(木・金曜日の受付は11時まで)

# 平成27年度手術

(平成27年5月～平成28年3月)

## 201件

	手術実績
白内障手術	175件
硝子体手術	15件
翼状片手術	8件
その他	3件

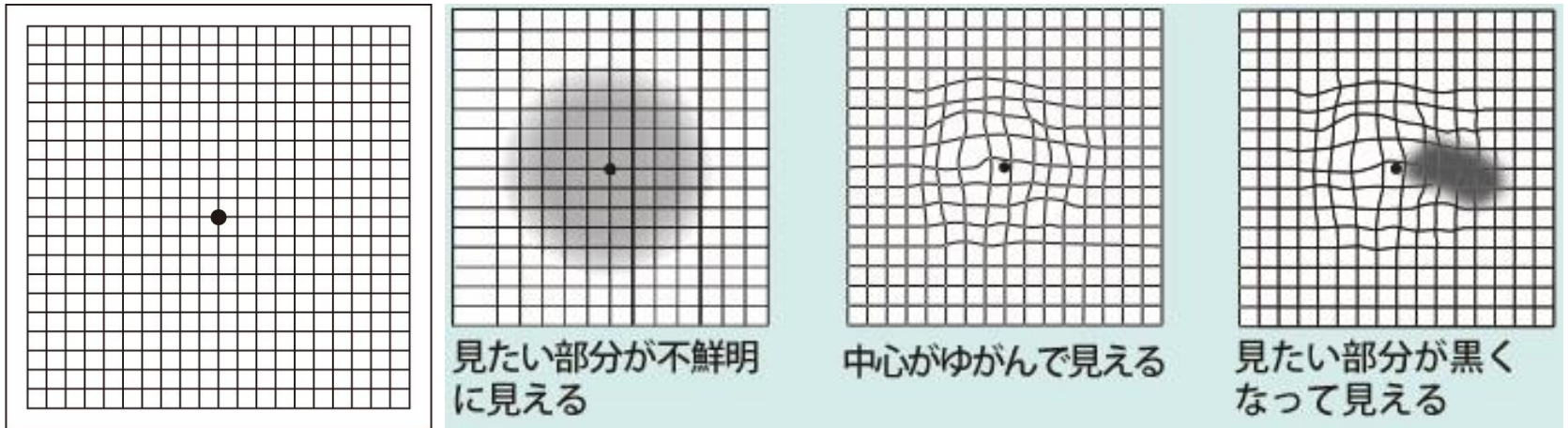


- 硝子体注射 102件

加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫、  
網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫

# まとめ

- 加齢とともに眼疾患増加
- 緑内障・糖尿病網膜症は早期発見・早期治療が重要



A wide-angle photograph of a vast field of pink flowers, likely bougainvillea, stretching towards the horizon. In the background, a large, rounded mountain rises against a clear blue sky. A utility pole with power lines is visible on the left side of the image. The overall scene is bright and sunny.

ご清聴ありがとうございました